

# 来賓祝辞

上越市助役

## 中川周一

新しい議員三十人が誕生いたしました。今後はこの三十名の議員をはじめ、多くの皆さんと手を携えて、市民本位のまちづくりで誠心誠意、引き続き努力してまいります所存であります。

改めて申し上げるまでもなく、市政運営の要諦は市民ニーズに添った市民生活に密着した市民本位のまちづくりを推進することにあります。このことを念頭に、日々市政運営に当たって参りますので、Jネットの皆様方には引き続きご支援、ご提言を賜りますようお願いを申し上げます。

国から地方へ権限が委譲されるなどの地方分権の進展に伴い、自治体も大きく変貌、進化しております。ご案内のとおり、現在、上越市を含む周辺十四市町村で一〇〇年後の地域を見つめた新しいまちづくりについて、真剣に協議をしているところではありますが、いずれにいたしましても、これまでにはなかった新しい

まちの新たな魅力や、伝統文化など、さまざまな顔が見えてくるものと考えております。市町村合併により住民自治の拡大が大いに期待できる時こそ、Jネットの皆様方からは、ふるさとの応援団として、ふるさとのまちづくりへのさまざまなご支援、ご指導を大いに期待をしているところであります。

Jネットでは、今年度からJネット「ふ

ご紹介をいただきました中川でございます。Jネットの会員の皆様には日頃から、ふるさと上越の大変心強い応援団として、さまざまな場面でご指導ご鞭撻をいただいておりますことに対しまして、衷心より厚くお礼を申し上げますと思っております。たいへんありがとうございます。

いと思っておりますし、また本日の総会に市長から祝辞を預かって参りましたので、私から謹んで代読をさせていただきますと思っております。

(祝辞)

本日はふるさと上越ネットワーク平成一六年度総会のご盛会、誠におめでとうございます。Jネットの皆様方には、常日頃、市政全般に亘る貴重なご助言を賜り、衷心より感謝を申し上げます次第であります。先月の観桜会には「ふるさと交流会」として、ふるさと上越をご訪問いただき、本当にありがたうございました。幸い天候にも恵まれ、ふるさとの素晴らしい桜を、心ゆくまで堪能いただけたものと存じております。

さて、市政を取り巻く最近の動きいたしましたし、さる四月二十五日に市議会議員選挙が行われ、三十三名の中から

るさと越後大使事業を立ち上げられ、上越市のさまざまな魅力などPRのご支援をいただけるものとお伺いしております。本当に心強く深く感謝をいたしております。Jネットも今年の七月で設立八年目を迎えることとあります。今後東京の運営委員会事務局の方々と市の事務局との両輪体制で、機能強化を図りつつ、相互の連携を更に深め、Jネット活動の充実を図っていただきたいと考えております。

ふるさと上越市が今後とも皆さんの誇るふるさとであり続け、いつまでも皆様を温かくお迎えできるよう、更に一層の努力をいたして参りますことをお誓いし、祝辞といたします。

平成一六年五月二十二日

上越市長 木浦正幸(代読)

